



中庭のあじさい

1. 『学思』制服

（1）社会における制服事情

宿泊・飲食サービス業や運輸・郵送業、ライフライン産業、保安業の7割以上が制服を採用しています。企業側（着る側）としては企業イメージ、利便性、安全性、快適性、公私のけじめを重視しています。消費者側（見る側）は識別性、統一感、経済性を理由に制服着用を肯定的に考えています。

情報通信業での制服採用率は全業種の中で最低の17%です。個性あふれるクリエイティブ集団であるというイメージづくりを重視しているからでしょう。いずれの業種でも服装は「自由」ではなく、制服であっても私服であっても企業イメージを損なわない服装や着こなしが求められます。

余談ですが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、関係業界で制服の新規・更新が見込まれています。「和」「おもてなし」デザインの採用が期待されています。

（2）学校における制服事情

2013年実施の制服メーカーによる調査では、高校の95.5%で制服、4.5%が私服となっています。同調査『制服の利点』では「一体感」「学校の象徴」「青春」「服選びで困らない」「公私の区別」などが回答されています。『欠点』としては「ダサい、可愛くない」「動きにくい」「束縛されている」「洗濯できず不衛生」「フレアスカートのヒダを維持するのが大変」などを挙げ、女性の方が制服への関心やこだわりが強いと紹介しています。

近隣学校の制服事情は、昔ながらの男子：詰め襟、女子：セーラー服、有名デザイナーによる制服採用、標準服の設定、完全な私服など様々です。校名変更や共学化などの学校事情と、原材料や製縫の費用高騰など制服メーカーの事情が、制服を新規・更新するきっかけのようです。

（3）本校における制服の移り変わり

- | |
|--|
| ① 附属住吉中 46 回生、附属明石中 43 回生まで 男子：黒の詰め襟、女子：紺ブレザー、夏：白開襟シャツ・ブラウス |
| ② 附属住吉中 47～62 回生 モスグリーンの男子ブレザー、女子ボレロ、夏服：ポロシャツ（白、緑、桃） 附属明石中 44～62 回生 紺ブレザー、男子紺ズボン、女子チェックスカート、夏：白開襟シャツ・ブラウス |
| ③ 中等 1 回生以降 男女：ブレザー、夏服：ポロシャツ（白） 採用後の変更点）制カバン金具変更、ポロシャツ丈の変更、後期でカバン自由化 |

②の制服検討は、副校長・生徒指導部長・生徒会担当教員・PTA役員（2名）の計5名で行われました。

③の制服検討委員会は、附属学校部、附属小中4校の校長・副校長・主幹、保健体育科・家庭科教員の計20名で構成され、現在の制服を検討・決定しました。いずれの検討委員会でも私服化が議論されましたが、生徒の生活に配慮して候補から外れました。また生徒の意見を聞く機会はありませんでした。

2. 『行』制服の着こなし

ポロシャツになって裾を出す姿を見かけます。私たち教員は見た目ですぐ人を判断しませんが、皆さんはルーズな着こなしでルーズな人間と判断され、信頼を得られない覚悟はしてください。また「公私の区別をつけて着こなし」という当たり前のことが当たり前にできる人間になって下さい。